

平塚市一般廃棄物処理基本計画(令和4年度(2022年度))
の取組状況等について

令和6年3月

1 令和4年度（2022年度）一般廃棄物の処理状況について

（1）ごみ処理基本計画

項目	単位	基準年度 平成30年度	実績値 令和4年度	中間年度 令和7年度	目標年度 令和12年度
人口（*1）	人	258,004	257,713	252,171	247,384
発生量あたり排出原単位	g/人・日	871	818	849	815
家庭系ごみ排出原単位	g/人・日	491	458	440	390
事業系ごみ総排出量	t	20,061	18,802	19,560	19,560
家庭系ごみ資源化率	%	25.4	25.9	30.9	34.9
総資源化率	%	25.4	25.1	29.5	31.8
最終処分量	t	831	429	783	769
二酸化炭素排出量（*2）	t-CO ₂	22,358	20,734	18,612	17,192

*1 人口は、平成30年度及び令和4年度は10月1日時点。令和7年度及び令和12年度は推計値。

*2 二酸化炭素排出量は、「焼却量×合成樹脂類の割合×可燃物の割合×係数」で算出しています。

ア 計画に掲げた目標値との比較

（ア）発生量あたり排出原単位

中間目標値に対し、令和4年度の発生量あたりの排出原単位は818g/人・日であり、31g/人・日下回りました。

（イ）家庭系ごみ排出原単位

中間目標値に対し、令和4年度の家庭系ごみの排出原単位は458g/人・日であり、18g/人・日上回りました。

（ウ）事業系ごみ総排出量

中間目標値に対し、令和4年度の事業系ごみの総排出量は18,802tであり、758t下回りました。

（エ）家庭系ごみ資源化率

中間目標値に対し、令和4年度の家庭系ごみ資源化率は25.9%となり、5ポイント下回りました。

（オ）総資源化率

中間目標値に対し、令和4年度の総資源化率は25.1%となり、4.4ポイント下回りました。

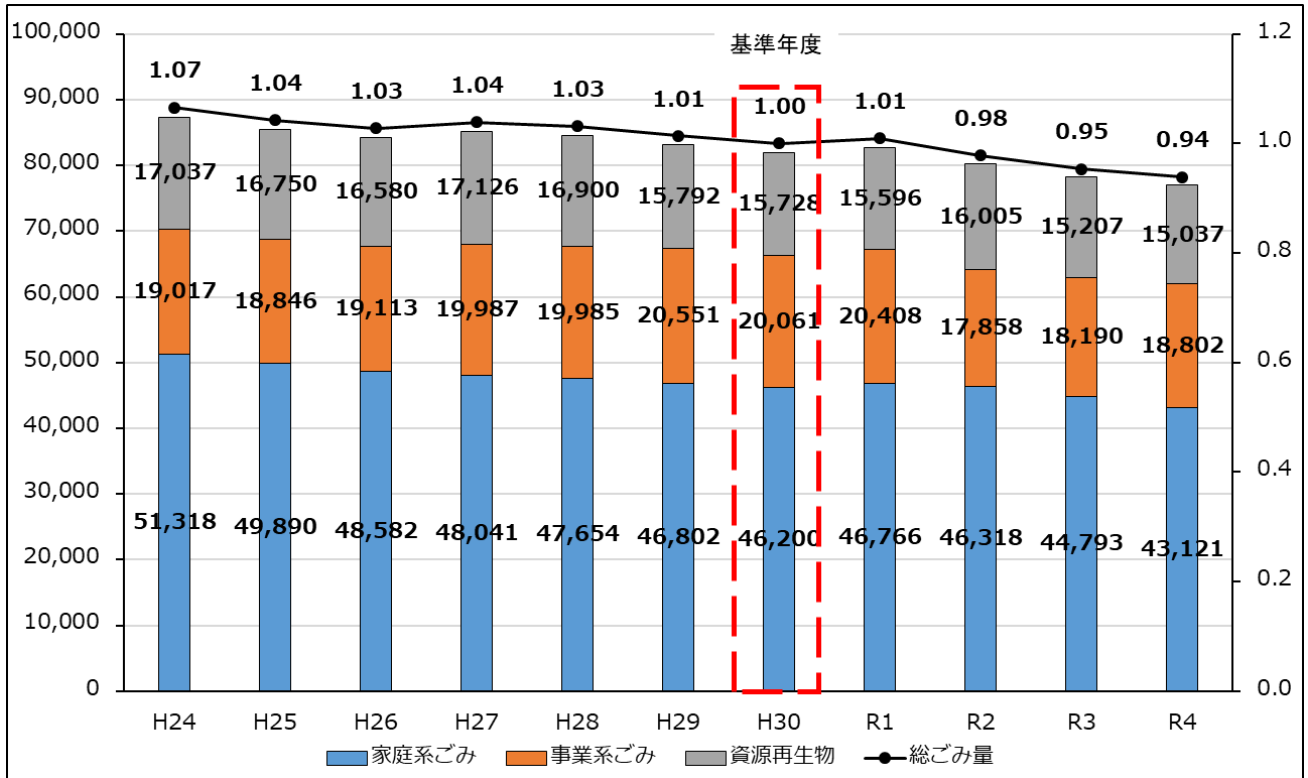
（カ）最終処分量

中間目標値に対し、令和4年度最終処分量は429tであり、354t下回りました。

（キ）二酸化炭素排出量

中間目標値に対し、令和4年度の二酸化炭素排出量は20,734t-CO₂であり、2,122t-CO₂上回りました。

イ ごみ量の推移



(ア) 総ごみ量は、前年度に比べ約 1, 2 3 0 t (約 1. 5 パーセント) の減少となりました。総ごみ量の減少は、家庭系ごみ及び資源再生物の減少によるものです。

(イ) 家庭系ごみの減少は、労働人口の減少、令和 3 年 4 月から実施されている家庭系可燃ごみの戸別収集及び物価高騰等の社会的要因によるものと考えられます。

(ウ) 事業系ごみは、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症へと移行になり、経済活動が回復傾向になるに伴い、令和 4 年度は約 6 1 2 t (約 3 パーセント) の増加となりました。

(エ) 資源再生物は、前年度に比べ約 1 7 0 t (約 1. 1 パーセント) の減少となりました。家庭系ごみの量は、前年度と同程度減少しているのに対し、資源再生物量はあまり減少していません。可燃ごみの戸別収集の拡大等により、分別の徹底が図られたものと考えられます。

ウ 基本方針に基づく実施事業の取組状況

別添「平塚市一般廃棄物処理基本計画における取組状況一覧表」のとおり

(2) 生活排水処理

ア 処理形態別人口

年度	計画処理人口	生活雑排水適正処理				生活雑排水未処理				生活雑排水適正処理率	
		計	下水道	農業集落排水	合併浄化槽	計	単独浄化槽	汲み取り	その他		
H25	2013	258,252	255,986	251,462	2,344	2,180	2,266	1,220	1,046	0	99.1%
H26	2014	257,200	255,523	250,824	2,508	2,191	1,677	758	919	0	99.3%
H27	2015	258,246	255,350	250,537	3,058	1,755	2,896	2,095	801	0	98.9%
H28	2016	258,126	255,260	250,531	3,035	1,694	2,966	2,146	820	0	98.9%
H29	2017	258,439	255,384	250,700	3,038	1,646	3,055	2,415	640	0	98.8%
H30	2018	258,004	255,176	250,549	2,981	1,646	2,828	2,248	580	0	98.9%
R1	2019	257,729	255,116	250,554	2,912	1,650	2,613	2,082	531	0	99.0%
R2	2020	258,422	254,723	250,257	2,864	1,602	3,699	3,243	456	0	98.6%
R3	2021	257,883	253,985	249,569	2,831	1,585	3,898	3,479	419	0	98.5%
R4	2022	257,713	255,336	250,844	2,765	1,727	2,377	2,000	377	0	99.1%

(ア) 生活雑排水適正処理率は、横ばいあるいは微減微増で推移しており、総人口のうち99.1パーセントが公共下水道、農業集落排水及び合併浄化槽により生活雑排水を適正に処理しています。

イ 生活排水処理量

年度	浄化槽汚泥					し尿			
	合計	合併浄化槽	単独浄化槽	排出量	1日当たり量	汲み取り	排出量	1日当たり量	
	(人)	(人)	(人)	(kL)	(kL/日)	(人)	(kL)	(kL/日)	
H24	2012	3,205	2,207	998	6,702	18.4	1,122	1,409	3.9
H25	2013	3,400	2,180	1,220	6,477	17.8	1,046	1,215	3.3
H26	2014	2,949	2,191	758	6,613	18.1	919	1,118	3.1
H27	2015	3,850	1,755	2,095	6,511	17.8	801	1,162	3.2
H28	2016	3,840	1,694	2,146	6,586	18.0	820	1,074	2.9
H29	2017	4,061	1,646	2,415	6,124	16.8	640	1,061	2.9
H30	2018	3,894	1,646	2,248	5,634	15.4	580	1,051	2.9
R1	2019	3,732	1,650	2,082	5,596	15.3	531	1,078	2.9
R2	2020	4,845	1,602	3,243	5,681	15.6	456	1,182	3.2
R3	2021	5,064	1,585	3,479	4,696	12.9	419	776	2.1
R4	2022	3,727	1,727	2,000	4,442	12.2	377	669	1.8

(ア) 生活排水処理量は、前年度に比べ約361キロリットル(約7パーセント)の減少となりました。

(イ) 生活排水処理量の減少は、単独浄化槽汚泥の減少によるものです。